

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	トライデントコンピュータ専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ゲームサイエンス学科	夜・通信	240 時間	240 時間	
	CG スペシャリスト学科	夜・通信	240 時間	240 時間	
	高度情報学科	夜・通信	300 時間	240 時間	
	サイバーセキュリティ学科	夜・通信	420 時間	320 時間	
	サイバーセキュリティ学科	夜・通信	300 時間	320 時間	○
	情報処理科	夜・通信	300 時間	160 時間	
	情報処理科	夜・通信	300 時間	160 時間	
	情報キャリアプロ学科	夜・通信	300 時間	160 時間	
	Web デザイン学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	Web デザイン学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	CAD 学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	CAD 学科	夜・通信	210 時間	160 時間	
(備考) サイバーセキュリティ学科、情報処理科、Web デザイン学科、CAD 学科については、教育課程変更途上であるため、各学科上段を新課程、下段を旧課程に分けて記載しています					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/

学校公開資料・職業実践専門課程

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 サイバーセキュリティ学科 (2022 年度生)

(困難である理由)

旧教育課程表で実施の最後の学年となり、単年度で実務経験のある教員の科目を 320 時間満たすことが困難なため。

様式第 2 号の 2－①【(2)－①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	トライデントコンピュータ専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HP にて公開

https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/

学校公開資料・職業実践専門課程

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2025 年 6 月 26 日～2027 年度 定時評議員会 終結時	組織運営体制へのチェ ック機能
非常勤	会社役員	2025 年 6 月 26 日～2027 年度 定時評議員会 終結時	組織運営体制へのチェ ック機能
非常勤	弁護士	2025 年 6 月 26 日～2027 年度 定時評議員会 終結時	組織運営体制へのチェ ック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	トライデントコンピュータ専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・授業計画(シラバス)の作成過程 トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。 ・授業計画の作成・公表時期 当校は前期、後期の2学期制であり、授業計画の作成については、各学科長・主任を中心に、カリキュラム内容や教員を選定し、前期授業計画(シラバス)については、4月1日までに学生専用サイトならびに教務課にて閲覧ファイルを設置。後期授業計画(シラバス)については、同様に10月1日までに学生専用サイトならびに教務課にて閲覧ファイルを設置。	
※授業計画の公表について、以下の欄に記載すること	
授業計画書の公表方法	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況(各学生の学修成果に基づき、あらかじめ認定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している) 学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価はA・B・C・Fの4段階で表示し、Fは不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。 なお、単位認定に関し、学則上の規定として「企業実習や入社前の研修などで、本校の教育に相当する水準を有すると認めたものに関して、総授業時間数の2分の1を超えない範囲で授業科目の履修とみなす」との特則的な記述があり、この適用を受ける例もある。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績は科目ごとにA (優)、B (良)、C (可)、F (不可) の4段階で評価する他、各期と学年ごとにG P A (Grade Point Average) として評価し、成績表に付記する。 このG P Aは各種成績優秀学生の表彰や奨学金採用など様々な判断に用いられる。 G P Aの計算方法は、各科目の成績評価のそれぞれにグレードポイントをつけ、それに各単位数をかけて足した合計点を総単位数で割ってスコア化するものである。 ※計算式… (成績評価数値×科目単位) の合計÷総単位数=GPA 全てA評価の場合、G P Aは11になる。 (A=11, B=7, C=4, F=0)	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学生便覧、ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業年次の2月中旬に成績ならびに卒業判定会議を実施。 判定会議出席者は、校長、教務チーフ、各学科主任、各担任で構成し、学科毎に実施をし、承認している。 卒業要件については、当年次30単位以上を取得して、卒業判定会議で承認されることとしている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学生便覧、ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	トライデントコンピュータ専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程
財産目録	ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程
事業報告書	ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程
監事による監査報告（書）	ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	ゲームサイエンス学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2700 単位時間／単位	1200 単位時間 ／単位	1770 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2970 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105 人		238 人	2 人	5 人	3 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。

成績評価の基準・方法
（概要）学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価はA・B・C・Fの4段階で表示し、Fは不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。
卒業・進級の認定基準
（概要）授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。
1. 進級条件
当年次に900時間（30単位）以上取得して、進級判定会議で承認されること。
2. 卒業条件
当年次に900時間（30単位）以上取得して、卒業判定会議で承認されること。
学修支援等
（概要）教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム：社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム：担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習PDCAを実行している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
79人 (100%)	0人 (0%)	78人 (98.7%)	1人 (1.3%)
（主な就職、業界等） 株式会社セガ、ハル研究所株式会社、株式会社トーセ、(株)三洋物産			
（就職指導内容） キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） スパJAM道場2024 優秀賞、ITパスポート			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
255人	13人	5.0%
（中途退学の主な理由） 学力不振、学生生活不適應、就職等		

(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、臨床心理士カウンセリング、学費援助制度導入
--

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	CG スペシャリスト		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2700 単位時間／単位	300 単位時間 ／単位	2670 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2970 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105 人		137 人	1 人	4 人	2 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。
成績評価の基準・方法
（概要）学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価は A・B・C・F の 4 段階で表示し、F は不可を意味する。成績結果は、学生へ年 2 回通知している。
卒業・進級の認定基準
（概要）授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。
1. 進級条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、進級判定会議で承認されること。
2. 卒業条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、卒業判定会議で承認されること。
学修支援等
（概要）教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム：社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム：担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の 2 つを柱に学習 P D C A を実行している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
46 人 (100%)	0 人 (0%)	41 人 (89.1%)	5 人 (10.9%)
（主な就職、業界等） 任天堂株式会社、カプコン株式会社、ポリゴン・ピクチュアズ株式会社など			
（就職指導内容） キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第 11 回全国専門学校CG 作品コンテスト グランプリ 受賞 学生 CG トライアル「WHO'S NEXT？」2024 年第 1 弾 優秀賞 第 3 位入賞 学生 CG トライアル「WHO'S NEXT？」2024 年第 2 弾 第 7 位入賞 CG クリエーター検定 ベーシック			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
136 人	7 人	5.0%
（中途退学の主な理由） 学力不振、学生生活不適応、就職等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談、保護者との連携、臨床心理士カウンセリング、学費援助制度導入		

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士
工業		工業専門課程	サイバーセキュリティ学科				○
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
		3600 単位時間／単位	900 単位時間 /単位	3060 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
4 年	昼		3960 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
125 人		116 人	0 人	4 人	3 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要）トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。			
成績評価の基準・方法			
（概要）学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価はA・B・C・Fの4段階で表示し、Fは不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。			
卒業・進級の認定基準			
（概要）授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。 1. 進級条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、進級判定会議で承認されること。 2. 卒業条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、卒業判定会議で承認されること。			
学修支援等			
（概要）教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム：社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム：担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習PDCAを実行している。			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26 人 (100%)	0 人 (0%)	26 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 三井物産セキュアディレクション株式会社、株式会社豊田自動織機 IT ソリューションズなど			
（就職指導内容） キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） にいがたデジコングランプリ 2024 グランプリ（デジコン会長賞）、優秀賞 受賞 基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験			

情報処理安全確保支援士試験
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
114 人	2 人	1.8%
(中途退学の主な理由) 学生生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、臨床心理士カウンセリング、学費援助制度導入		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	高度情報学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2700 単位時間／単位	840 単位時間 ／単位	2130 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2970 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105 人		163 人	3 人	3 人	3 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。
成績評価の基準・方法
（概要）学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価はA・B・C・Fの4段階で表示し、Fは不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。
卒業・進級の認定基準
（概要）授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。

1. 進級条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、進級判定会議で承認されること。
2. 卒業条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、卒業判定会議で承認されること。
学修支援等
（概要）教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム：社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム：担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習P D C Aを実行している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
51 人 (100%)	0 人 (0%)	50 人 (98.0%)	1 人 (2.0%)
（主な就職、業界等） アイシン・ソフトウェア株式会社、アイレット株式会社、株式会社中電シーティーアイなど			
（就職指導内容） キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 専門学校 HTML5 アワード審査員特別賞 入選（5 作品） 彩の国さいたま ICT コンテスト 2024 最優秀賞、優秀賞 受賞 基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験 情報処理安全確保支援士試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
169 人	1 人	1%
（中途退学の主な理由） 就職		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談、保護者との連携、臨床心理士カウンセリング、学費援助制度導入		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	情報処理学科	○	

修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間／単位	780 単位時間 ／単位	1200 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1980 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		37 人	7 人	3 人	3 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。
成績評価の基準・方法
（概要）学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価はA・B・C・Fの4段階で表示し、Fは不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。
卒業・進級の認定基準
（概要）授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。
1. 進級条件 当年次に900時間（30単位）以上取得して、進級判定会議で承認されること。
2. 卒業条件 当年次に900時間（30単位）以上取得して、卒業判定会議で承認されること。
学修支援等
（概要）教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム：社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム：担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習PDCAを実行している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 (100%)	0人 (0%)	24人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) S k y 株式会社、株式会社F I X E R、岡谷システム株式会社など		
(就職指導内容) キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など		
(主な学修成果（資格・検定等） 基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験		
(備考)（任意記載事項）		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52 人	6 人	11%
(中途退学の主な理由) 学力不振、就職、病気・怪我等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、臨床心理士カウンセリング、学費援助制度導入		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	情報キャリアプロ学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間／単位	720 単位時間 /単位	1260 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1980 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		7 人	1 人	3 人	3 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。
成績評価の基準・方法
（概要）学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価はA・B・C・Fの4段階で表示し、Fは不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。
卒業・進級の認定基準

（概要）授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。 1. 進級条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、進級判定会議で承認されること。 2. 卒業条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、卒業判定会議で承認されること。 学修支援等 （概要）教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム：社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム：担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の 2 つを柱に学習 P D C A を実行している。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 株式会社ジェイアールシステム・エンジニアリングなど			
（就職指導内容） キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談、保護者との連携、臨床心理士カウンセリング、学費援助制度導入		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	Web デザイン学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1800 単位時間／単位	360 単位時間 ／単位	1620 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
70 人		48 人	6 人	3 人	1 人		4 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。
成績評価の基準・方法
（概要）学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価は A・B・C・F の 4 段階で表示し、F は不可を意味する。成績結果は、学生へ年 2 回通知している。
卒業・進級の認定基準
（概要）授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。
1. 進級条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、進級判定会議で承認されること。
2. 卒業条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、卒業判定会議で承認されること。
学修支援等
（概要）教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム：社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム：担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の 2 つを柱に学習 P D C A を実行している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	0 人 (0%)	19 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 業界：株式会社コンテンツ庵、キューコーポレーション株式会社、株式会社 PERVA など			
（就職指導内容） キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第 8 回 専門学校 HTML5 作品アワード グランプリ・IMAKE 賞 Web クリエーター能力認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	4 人	8%
（中途退学の主な理由） 学力不振、学生生活不適応		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談、保護者との連携、臨床心理士カウンセリング、学費援助制度導入		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	CAD 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間／単位	360 単位時間 /単位	1620 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1980 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		35 人	4 人	3 人	1 人	4 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要）トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。			
成績評価の基準・方法			
（概要）学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価はA・B・C・Fの4段階で表示し、Fは不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。			
卒業・進級の認定基準			
（概要）授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。 1. 進級条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、進級判定会議で承認されること。 2. 卒業条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、卒業判定会議で承認されること。			
学修支援等			
（概要）教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム：社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム：担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習P D C Aを実行している。			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 (100%)	0 人 (0%)	18 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） トヨタ自動車株式会社、JFE エンジニアリング株式会社、株式会社L I X I Lな			
（就職指導内容） キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2 次元 CAD 利用技術者試験 1 級（機械）、3 次元 CAD 利用技術者試験 1 級（機械）			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	3 人	9%
(中途退学の主な理由) 学力不振、学生生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、臨床心理士カウンセリング、学費援助制度導入		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等 (2022 年度生)

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ゲームサイエンス学科	200,000 円	830,000 円	450,000 円	施設・設備費・実習費
CG スペシャリスト学科	200,000 円	830,000 円	450,000 円	施設・設備費・実習費
Web デザイン学科	200,000 円	830,000 円	430,000 円	施設・設備費・実習費
CAD 学科	200,000 円	830,000 円	430,000 円	施設・設備費・実習費
サイバーセキュリティ学科	200,000 円	900,000 円	410,000 円	施設・設備費・実習費
高度情報学科	200,000 円	780,000 円	370,000 円	施設・設備費・実習費
情報処理科	200,000 円	780,000 円	350,000 円	施設・設備費・実習費
情報キャリアプロ学科	200,000 円	780,000 円	350,000 円	施設・設備費・実習費

a) 「生徒納付金」等 (2023・2024 年度生)

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ゲームサイエンス学科	200,000 円	830,000 円	450,000 円	施設・設備費・実習費
CG スペシャリスト学科	200,000 円	830,000 円	450,000 円	施設・設備費・実習費
Web デザイン学科	200,000 円	830,000 円	430,000 円	施設・設備費・実習費
CAD 学科	200,000 円	830,000 円	430,000 円	施設・設備費・実習費
サイバーセキュリティ学科	200,000 円	780,000 円	370,000 円	施設・設備費・実習費
高度情報学科	200,000 円	780,000 円	370,000 円	施設・設備費・実習費
情報処理科	200,000 円	780,000 円	350,000 円	施設・設備費・実習費
情報キャリアプロ学科	200,000 円	780,000 円	350,000 円	施設・設備費・実習費

a) 「生徒納付金」等 (2025 年度生)

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ゲームサイエンス学科	200,000 円	830,000 円	470,000 円	施設・設備費・実習費
CG スペシャリスト学科	200,000 円	830,000 円	470,000 円	施設・設備費・実習費
Web デザイン学科	200,000 円	830,000 円	450,000 円	施設・設備費・実習費
CAD 学科	200,000 円	830,000 円	450,000 円	施設・設備費・実習費

サイバーセキュリティ学科	200,000 円	800,000 円	410,000 円	施設・設備費・実習費
高度情報学科	200,000 円	800,000 円	410,000 円	施設・設備費・実習費
情報処理科	200,000 円	800,000 円	390,000 円	施設・設備費・実習費
情報キャリアプロ学科	200,000 円	800,000 円	390,000 円	施設・設備費・実習費

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページにて公開		
https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/		
学校公開資料・職業実践専門課程		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
校長直属の委員会として学校関係者評価委員会を設置し、「学校自己点検・評価報告書」および「授業科目等の概要」を中心に学校に対する外部評価を実施する。評価の活用方法として委員よりいただいた意見を基に校内で会議を行い具体的な改善施策を検討し実行することとしている。委員定数は10名とし、企業関係者、業界団体、高校教諭、卒業生を構成員としている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ファンコーポレーション 石本 則子	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
株式会社ハ・ン・ド 笹木原 慎一	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
株式会社ブリアップパートナーズ 鈴木 敬	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
株式会社ジェイテック 酒井 章次	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
竹田印刷株式会社 三木 哲朗	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
株式会社ヤマダデンキ ソクモ名古屋法人営業所 佐川 俊彦	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
ヤマトシステム開発株式会社 村上 貴義	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
一般社団法人 愛知県情報サービス 産業協会 [A i A] 宮田 利昭	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	業界・職能団体
愛知県立春日井泉高等学校 内田 武司	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	高校教諭
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページにて公開		
https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/		
学校公開資料・職業実践専門課程		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

ホームページにて公開

https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/

学校公開資料・職業実践専門課程